

ILASセミナー：三枝洋一「数論幾何入門」を読む(2)

[成績評価の方法・観点]

発表への取り組み（25点），討論への積極的な参加（25点），学期末レポート（50点）により評価する．

[教科書]

三枝洋一『数論幾何入門 モジュラー曲線から大定理・大予想へ』（森北出版）ISBN:978-4-627-07891-8

第1回の授業の際に発表箇所を決めるので，その時までに教科書を入手しておくこと．

[授業外学修（予習・復習）等]

この授業は輪講形式であり予習・復習は必須である．

授業への積極的な参加が望まれる．

発表時には，教科書に書かれていることを表面的に読むだけでなく，説明が分かりにくいところは自分で補ったり，興味深い定理があったら例を計算してみるなどして，理解を深めるように試みるとよい．

自分が発表担当でない回でも教科書の予習を行うこと．自分ならどのように発表するかということを考えながら参加するとよい．発表者の説明が分かりにくい箇所については積極的に質問すること．

[その他（オフィスアワー等）]

授業後に質問を受け付ける．

[主要授業科目（学部・学科名）]